

令和元年度 第2回宮崎支部評議会の概要報告（速報）

開催日時	令和元年8月22日（木）～9月4日（水）持ち回り審議
出席者	上山評議員、川野評議員、佐藤評議員、塩月評議員、高橋評議員、谷口評議員、長鶴評議員、松浦評議員、谷田貝議長（五十音順）
議題	<p>令和元年度宮崎支部事業の追加および予算の振替について（案）</p> <p>《追加事業案》</p> <p>案1：輸送型血液検査サービスを利用した次年度40歳対象者への受診勧奨</p> <p>案2：レセプト・健診データを使用し、糖尿病性腎症患者の病期階層化と保健指導対象者の抽出事業</p>
議事概要（主な意見等）	<p>《案1について》</p> <p>（学識経験者）</p> <p>健診を受けない人たちは、健診を受けに外に行く、ということが面倒なのではないか。自宅で行う方法で39歳時に検査を受けたとしても、結局40歳時点では、健診を受けに外に行かなければならないので、インセンティブが働かず、受診率向上には繋がらないのではないかと。</p> <p>他支部において40歳以降の特定健診受診率に影響を与えるかどうかの効果検証後、効果があれば実施してもよいのではないかと思う。</p> <p>300人にのみ検査し、周知広報を行うやり方は、過度な予算のかけ方のような気もする。この300人が40歳時点でちゃんと特定健診を受けているかどうかの効果検証は必ず行っていただきたい。</p> <p>（学識経験者）</p> <p>簡易血液検査の受検者は、もともと健康意識の高い人と想定され、39歳時点でこういう案内がなくても40歳時点で特定健診の受診券が来れば受ける人だと思われるので、受診率向上には繋がらないのではないかと。受検者見込み300人として、受検しない700人へのアプローチが受診率向上に繋がると思うのでその点を考える必要があると思う。</p> <p>（被保険者代表）</p> <p>経年未受診者にも働きかけを行っていただきたい。</p> <p>（事務局）</p> <p>40歳時での受診について効果検証を行います。また、今回の未受検者や経年未受診者に対する対応についても検討していきます。</p> <p>（事業主代表）</p> <p>衛生面は大丈夫なのか。自分で針を刺して細菌感染の恐れはないのか。</p> <p>（事務局）</p> <p>血液検査キットからの細菌感染は基本的にないと考えています。</p>

《案2について》

(事業主代表)

治療が必要と分かっているが受診しない人が多いと思う。かなり悪化してしまった状態で手遅れとなり、透析に移行してしまう人が多いと感じる。

(被保険者代表)

個人では効果は感じられないかもしれないが、医療費全体としては大きな効果が得られるのではないかと。社内でも過去に透析に移行した社員が退職してしまったことがある。ぜひデータを元に介入し医療費および透析移行者の抑制に繋げていただきたい。

(被保険者代表)

生保会社も糖尿病に関し対策を講じていると聞く。この施策も良いのではないかとと思う。

(学識経験者)

昨年度実施した生活習慣病予防健診の閑散期勧奨を今年度実施しないのは、健診機関に対するインセンティブの効果がなかったからか。

(事務局)

はい。効果はあまりないと早期に判断したため、効果が期待できる今回の事業案を皆様に諮り、実施したいと考えました。

《追加事業案および予算の振替案について了承をいただいた》

特記事項

・ 次回の評議会は、令和元年10月に開催予定